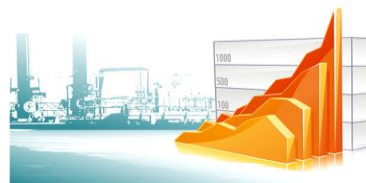


ぎふ経済レポート



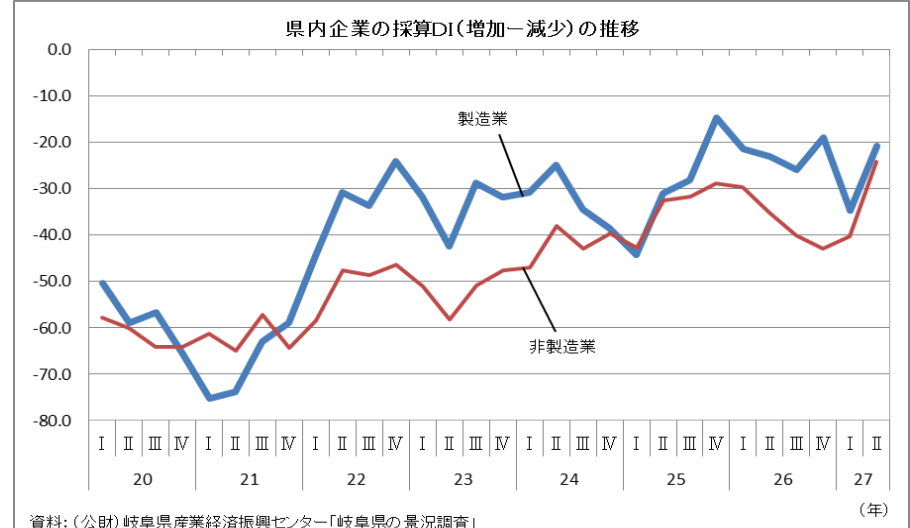
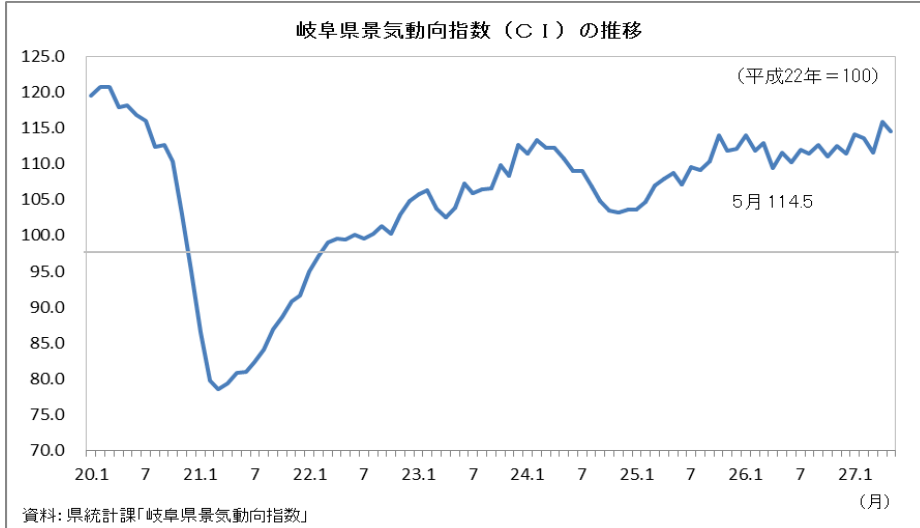
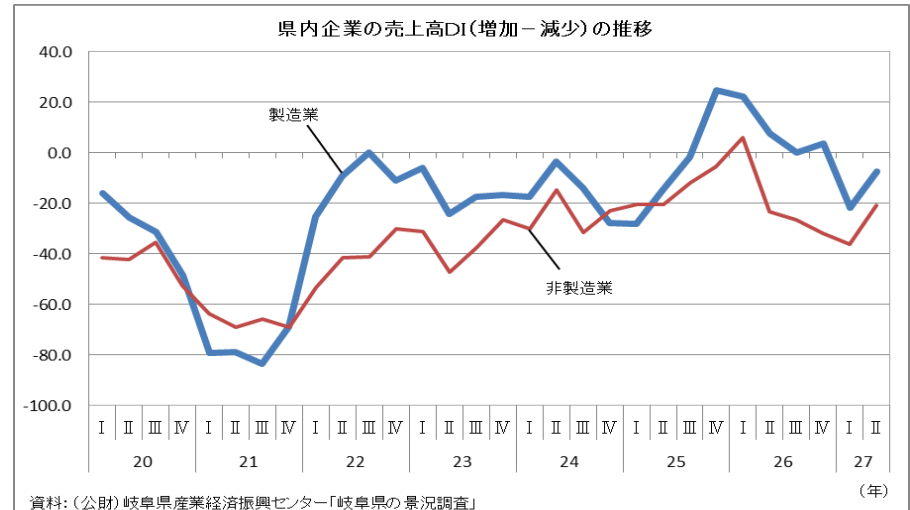
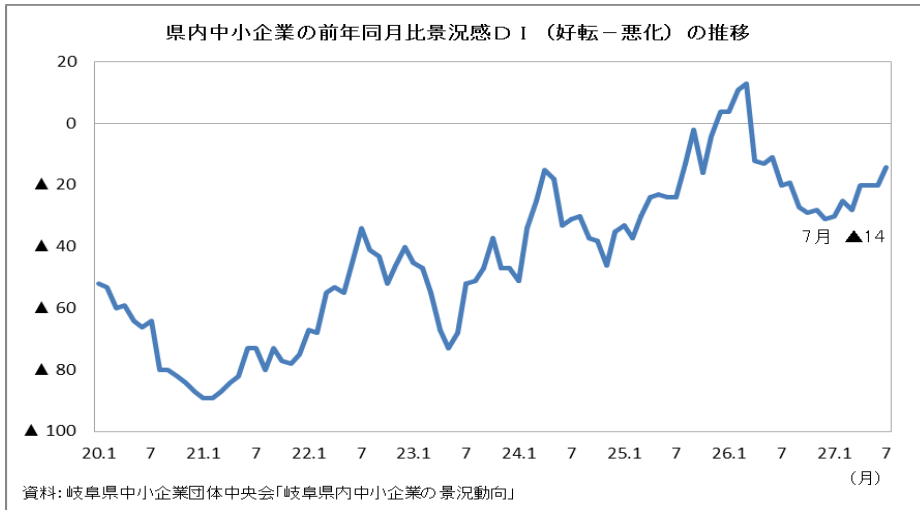
平成27年8月分
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは8月26日～28日を中心に実施し、9月7日に作成。

景気動向

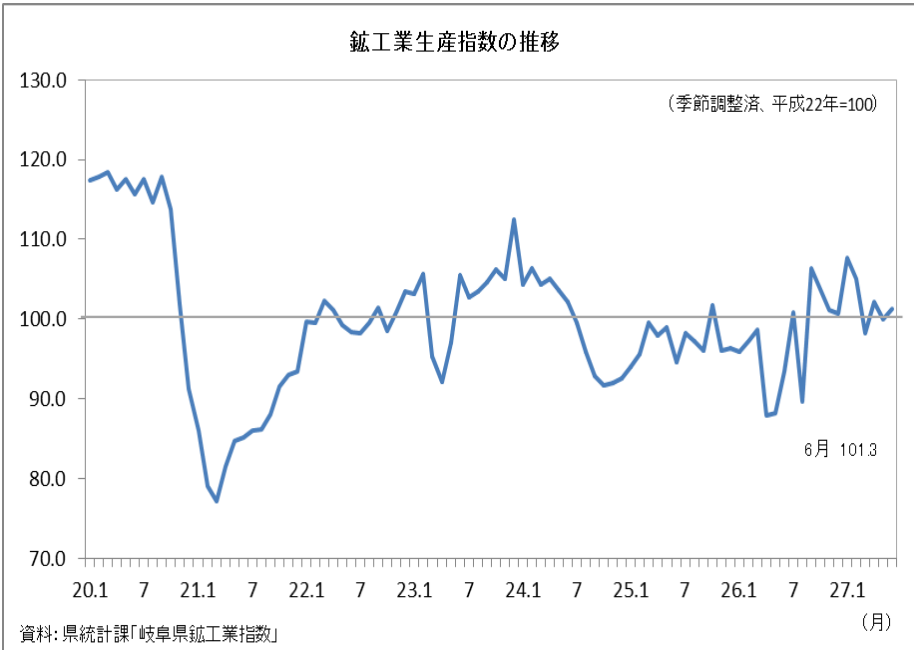
- 7月の県内中小企業の景況感は、マイナス14と前月より6ポイント上昇した。
- 5月の景気動向指数(一致指数)は、114.5と前月より1.4ポイント下降した。

- 平成27年4-6月期の売上高は、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。
- また、利益についても、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。

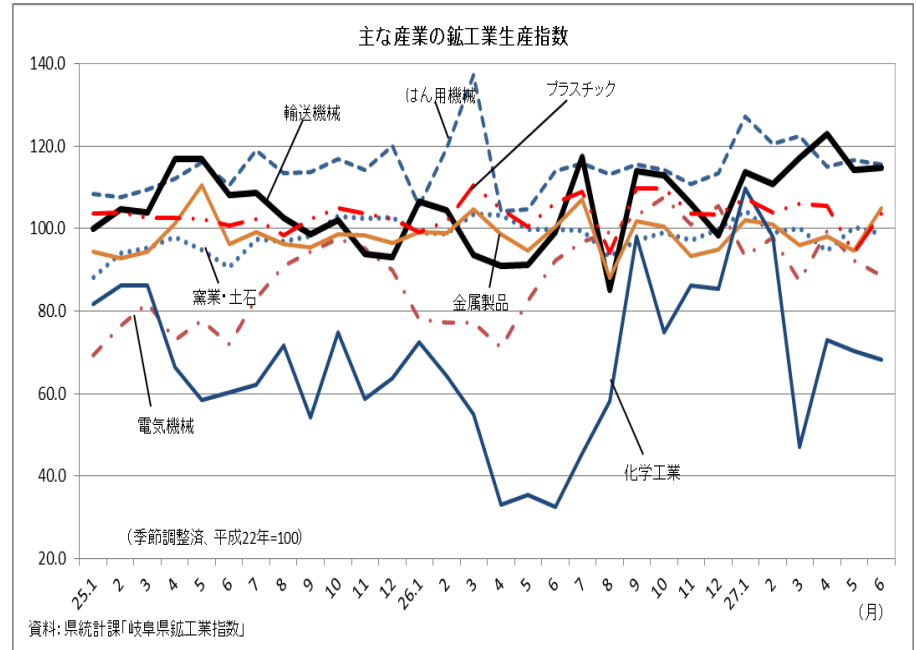


製造業

○6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.3と前月比プラス1.3%となり、2ヶ月ぶりに上昇した。



○6月の主な産業の鉱工業生産指数(季節調整済)は、輸送用機械、金属製品、プラスチックが前月より上昇した。

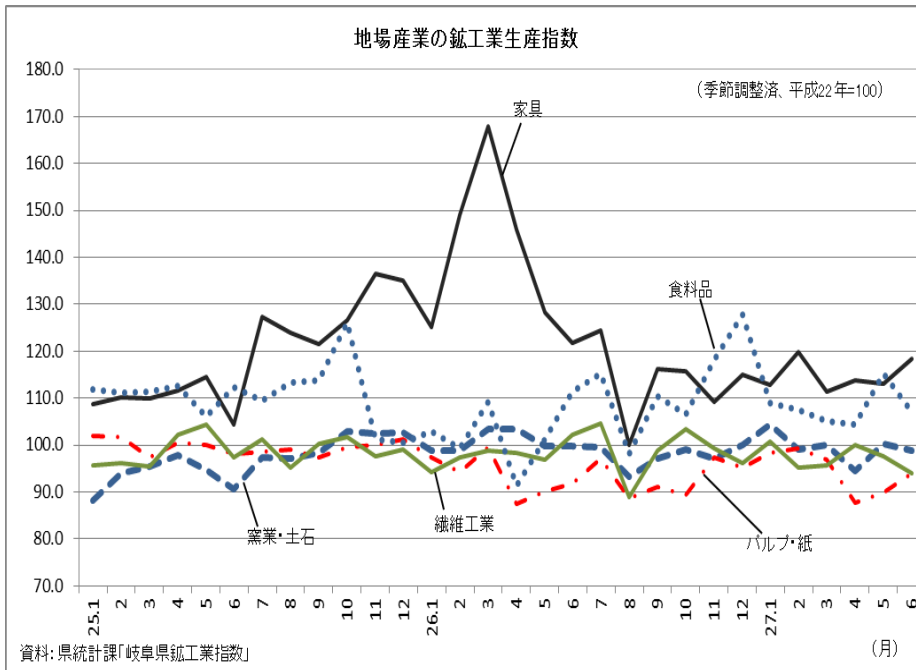


現場の動き

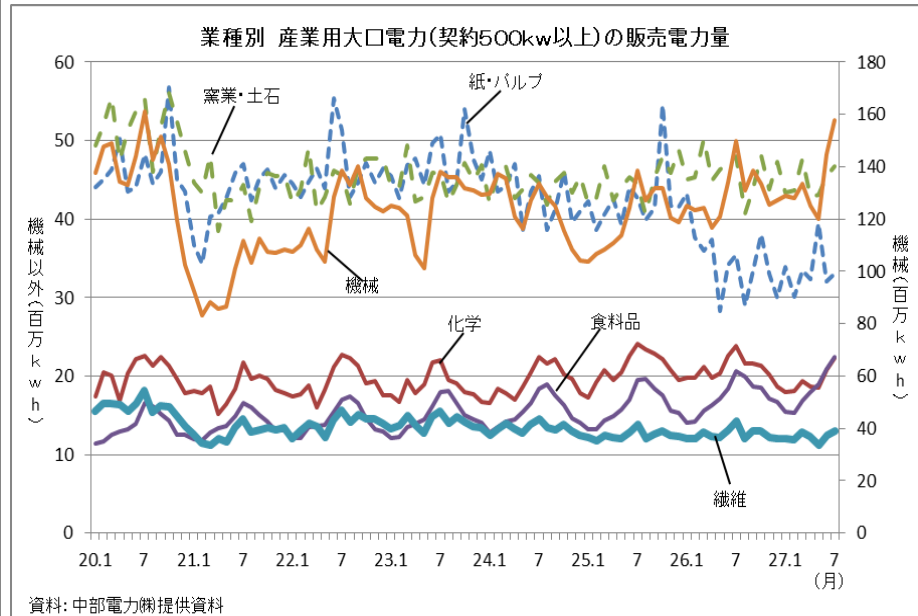
- ◆受注量、売上額とも対前年同月比で増加。特に、MRJ関係の受注は好調である。
- ◆中国経済の減速が顕著になりつつあり、この影響で今後の受注が不透明。(以上、輸送用機械)
- ◆8月はお盆休みの影響で受注は鈍ったものの、引き続き受注は堅調に推移している。(生産用機械)
- ◆売上・受注対前年比は約15%伸びたが(中国向けスマホ関連好調)、陰りが見えてきた。(金属製品)
- ◆売上・受注量とも7~8%程度増加。中国経済の減速で大手建設建機メーカーが受注を減らしていることから、当社への影響を懸念。(はん用機械)
- ◆売上・受注とも今後2、3ヶ月は1割程度増加する見通し。(非鉄金属)
- ◆サプリメントは、大型商材が好調。お盆休みも後退出勤でラインを稼働して対応した。(食料品)

製造業-2

○6月の地場産業(刃物を除く)の生産指数は、パルプ・紙、家具が前月より上昇したものの、窯業・土石、繊維工業、食料品は低下した。



○7月の工場向け電力販売量は、機械が2ヶ月連続で前年を上回った。また、化学が13ヶ月連続で、窯業・土石が9ヶ月連続で前年を下回った。

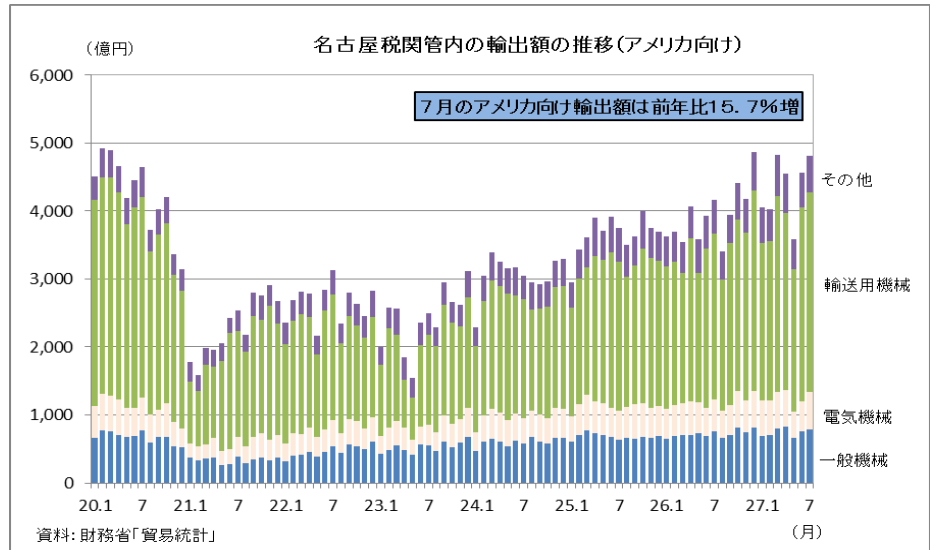
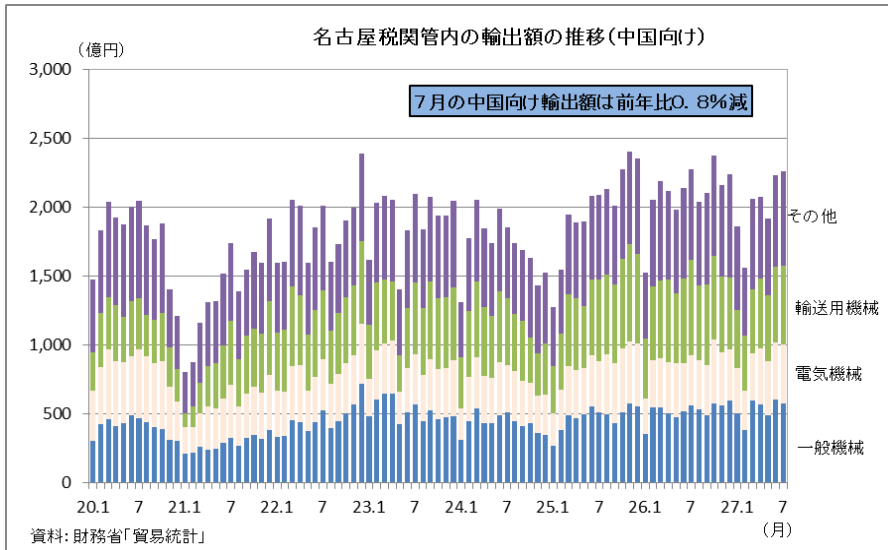
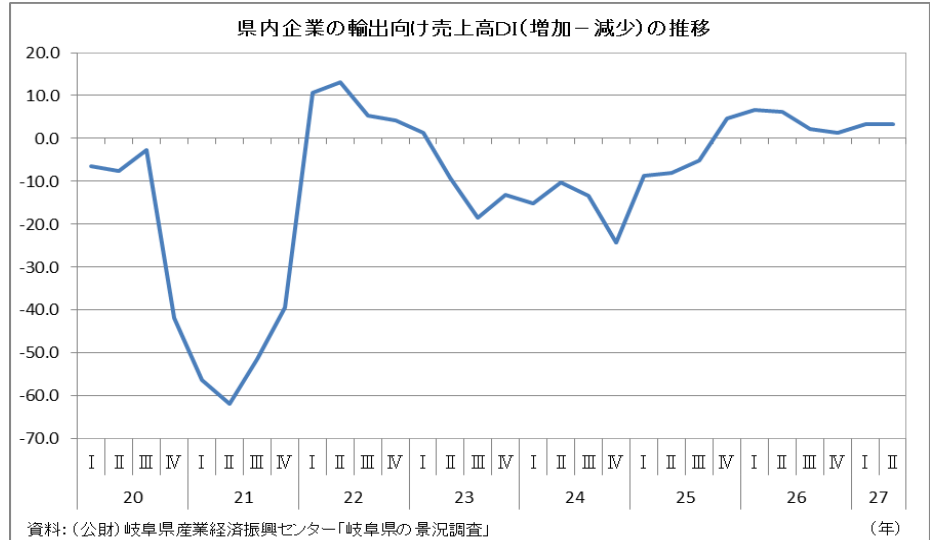
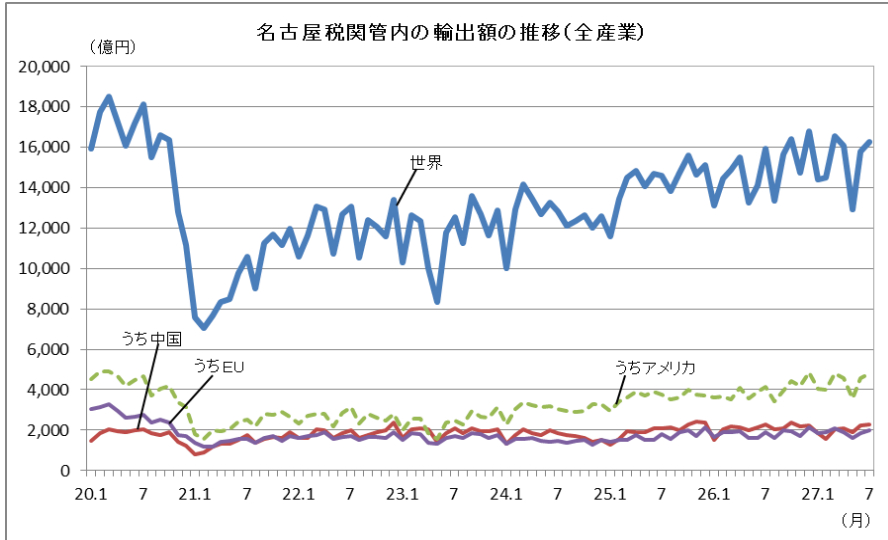


現場の動き

- ◆為替の影響で仕入額の上昇分を価格転嫁できず、厳しい状況は変わっていない。(アパレル)
- ◆売上は対前年同月比5%程度の減少となっている。(紙)
- ◆新たなOEM製品の受注を受けたため受注が前年同期比で30%増加。(刃物)
- ◆売上について、前年同月に対し数%の微減。消費者マインドの低下によるものと推察。(食品)
- ◆受注状況は、一昨年と比較しても高い。消費税の反動減は徐々に回復傾向にある。(木工)
- ◆年内の受注が詰まっている。円安により貿易向け商品が好調。(陶磁器)

輸 出(名古屋税関管内)

- 7月の輸出額は1兆6,270億円で、前年同月比2.2%増と2ヶ月連続で前年を上回った。
- うち中国向けは、輸送用機械と乗用車が減少し、同0.8%減と2ヶ月ぶりに前年を下回った。
- うちアメリカ向けは、すべての産業で増加し、同15.7%増と11ヶ月連続で前年を上回った。



為替・原油価格の動向による影響について

- ◆LNG(液化天然ガス)の価格は先月から下がっており、ピーク時の半分ほどに下がってきている。
- ◆アルミ価格が下がっており有り難いが、為替が不安定であるため動向を注視している。(以上、輸送用機械)
- ◆原油の価格変動幅が大きいいため、販売価格に大きな影響を与えている。(プラスチック)
- ◆円安や原油安の影響は感じられない。(はん用機械)
- ◆原料価格の高騰により、値上げを実施したが、販売に影響は出ていない。(紙)
- ◆ボイラー稼働他、包装にかかる経費もコスト高となり、影響がでている。(食品)
- ◆円高が進行すると、輸出入の契約に大きな影響が出てくるため、非常に注視している。(金融)

アベノミクスの効果・影響について

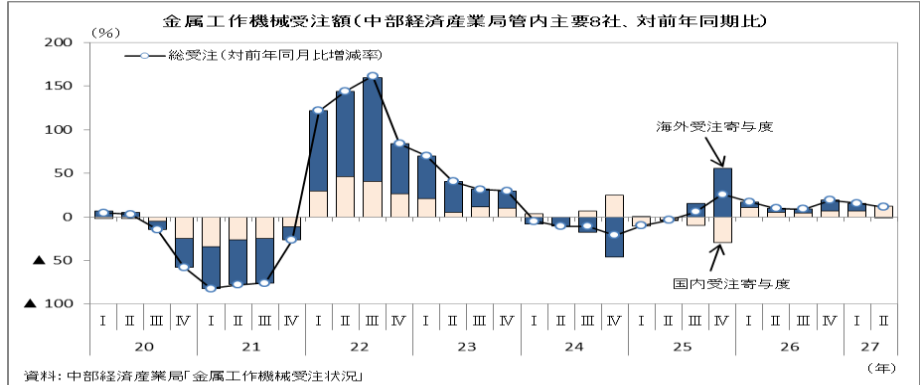
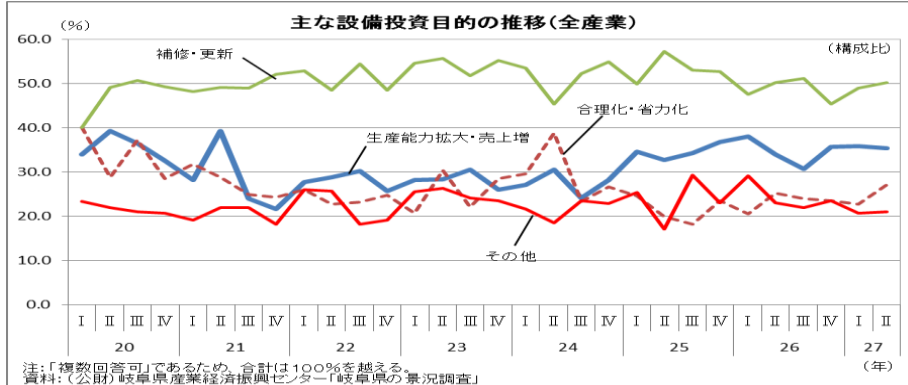
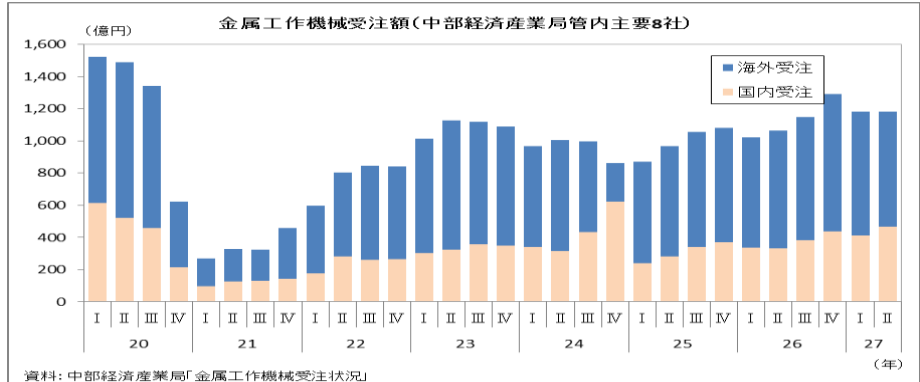
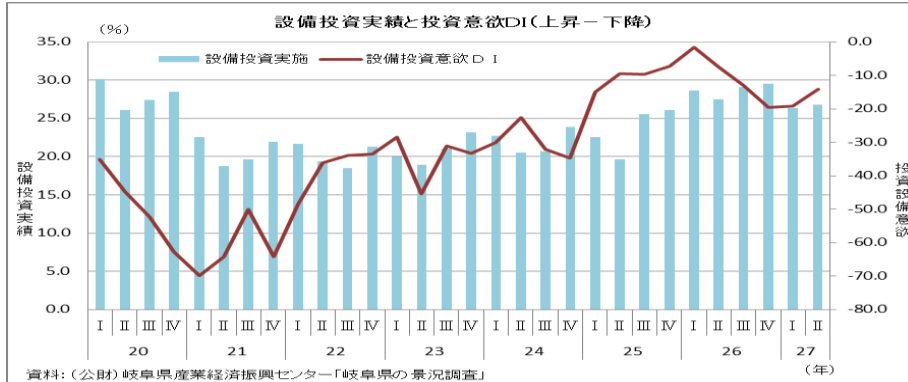
- ◆新規事業・新製品などの研究開発助成金などを有効に活用している。(輸送用機械)
- ◆国内の受注に好影響が出ている。(生産用機械)
- ◆法人税引き下げの効果が決算時に出てくる。(プラスチック)
- ◆高額商品の販売はアベノミクスの影響が背景にあると感じる。(紙)
- ◆プレミアム商品券の影響は非常に大きい。現在、商品券を使いどのような物が買われたか調査中。(コンビニ)
- ◆プレミアム商品券・子育て応援券が売上を5%くらい押し上げている。(大型商業施設)
- ◆外国人観光客は多く、アベノミクス効果(円安等)があると思われる。(高山商店街)
- ◆中国経済の影響が今後の政策にどのように影響するのか注視したい。(金融)
- ◆アベノミクス効果は感じられない。(アクティブG、家電、商店街、住宅関連)

消費税率が10%に引き上げられた場合の影響について

- ◆一般消費者との取引はなく、輸出の割合が6割ほどあるため、大きな影響はない。(輸送用機械)
- ◆消費税率引き上げによる影響は大きい。個人消費者の生活防衛意識はまだ続いている。(スポーツ用品)
- ◆消費者心理は縮小し、買い控えになることは間違いないと思われる。(大型商業施設、コンビニ)
- ◆次回の増税時に、再び消費の落ち込みが懸念される。(金融)

設備投資

- 平成27年4－6月期の設備投資実績は2期ぶりに増加した。目的別では、「生産能力拡大・売上増」は前月と同水準で推移し、「合理化・省力化」、「補修・更新」が増加した。
- 設備投資意欲は2期連続で増加した。

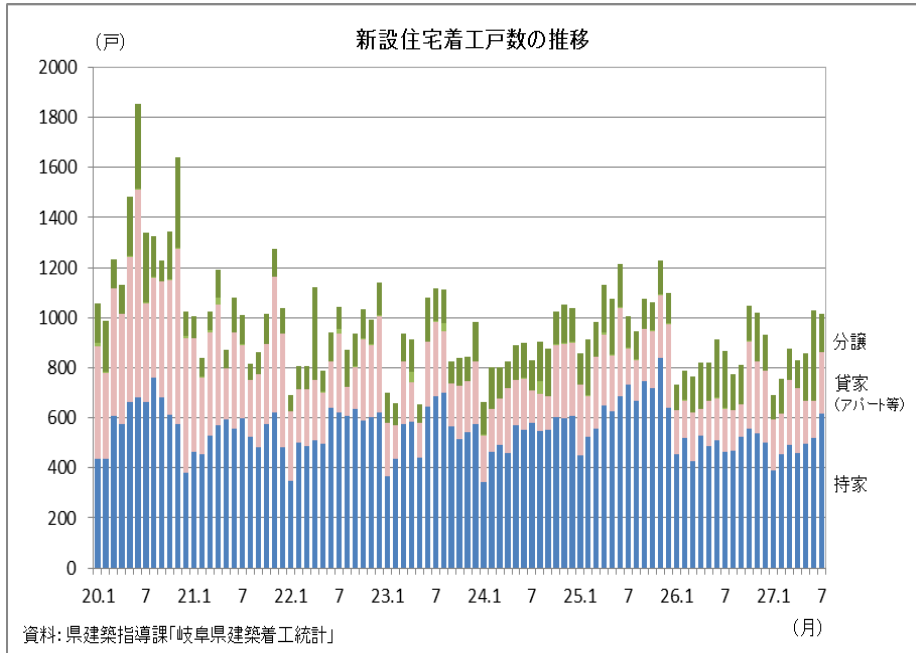


現場の動き

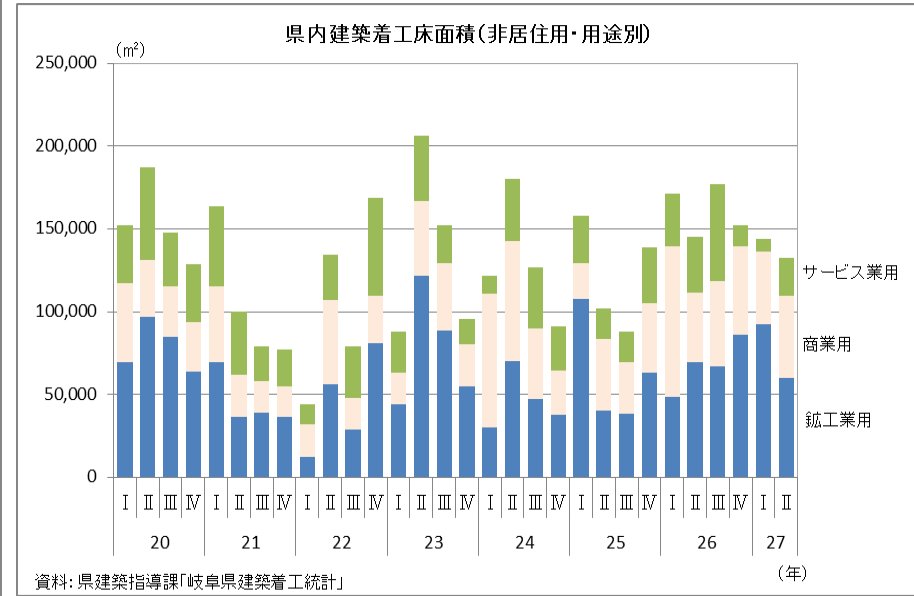
- ◆航空機関連部品製造工場の増設工事を着工。来年3月完成予定。
- ◆来年の9月に新工場建設を計画しているが、中国景気の減速などから流動的になっている。(以上、輸送用機械)
- ◆9月に増産・合理化のため1億2千万円程度の設備投資を計画。(金属製品)
- ◆名古屋市内に岐阜県産材を使ったモデルハウスを1月にオープン予定。(住宅関連)
- ◆省力・省人化のための自動化装置の導入を検討。今年年末に実施予定。(食品)
- ◆融資案件が設備投資に向かっている傾向があるため、今後は伸びていくと思われる。(金融)

住宅・建築投資

○7月の住宅着工戸数は、分譲が減少したものの、持家、貸家が増加したことにより、全体で前年同月比17.1%増と5ヶ月連続で前年を上回った。



○平成27年4-6月期の建築着工床面積は、商業用が増加したものの、鉱工業、サービス業用が減少し、全体では前年同期比8.8%減と2期連続で前年を下回った。



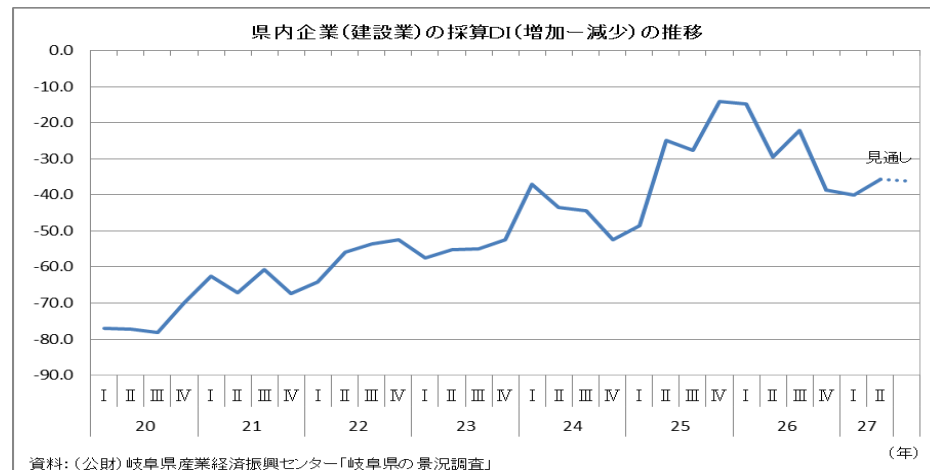
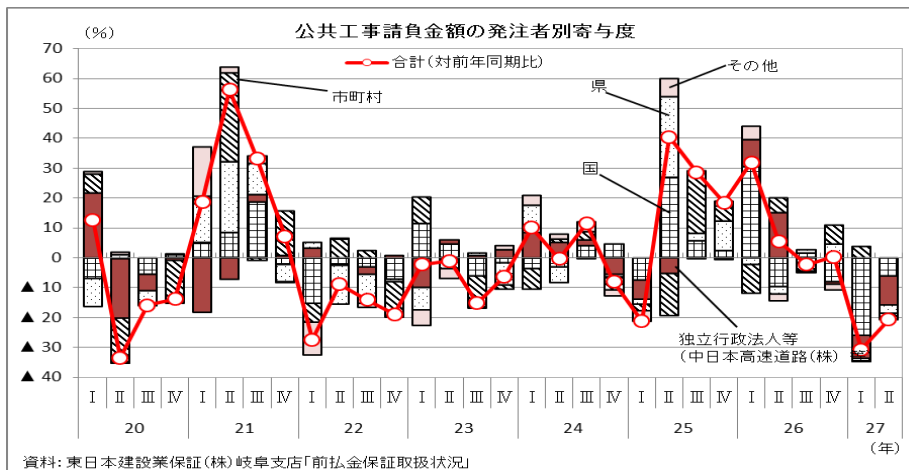
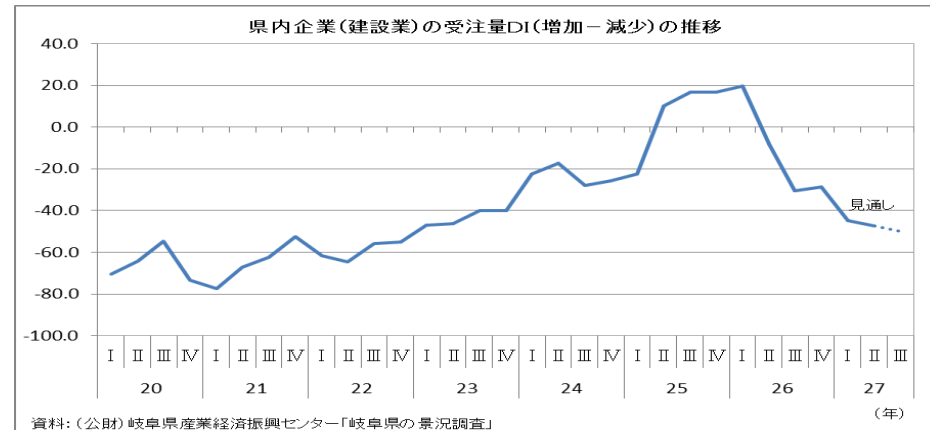
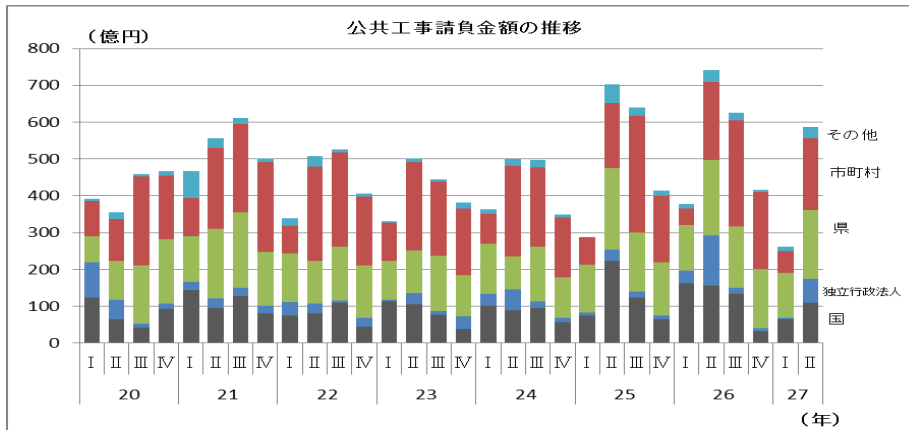
現場の動き

- ◆受注件数は前月と変わりなく、見込み客が増えてこない。(住宅関連)
- ◆山からの出材量は、7月の天候不順と盆休みの影響により、大幅減の状況。
- ◆A材(製材用材)は、長良川木材事業協同組合への納材も本格化し、今後も引き合いが増える傾向。
- ◆B材(集成材)は、合板工場の生産調整の影響もあるが、フロア用の需要が増加しており、供給は順調に推移。
- ◆C・D材(チップ・燃料用材)については、バイオマス発電施設稼働に伴う原木需要増の影響等から需要が非常に旺盛な状況が続いている。(以上、森林組合連合会)

公共工事

○平成27年4－6月期の公共工事請負金額は、前年同期比20.7%減と2期連続で減少し、全ての発注者において前年同期比で減少した。

○平成27年4－6月期の採算DIは、前期に比べ改善したものの、翌期は悪化の見通し。

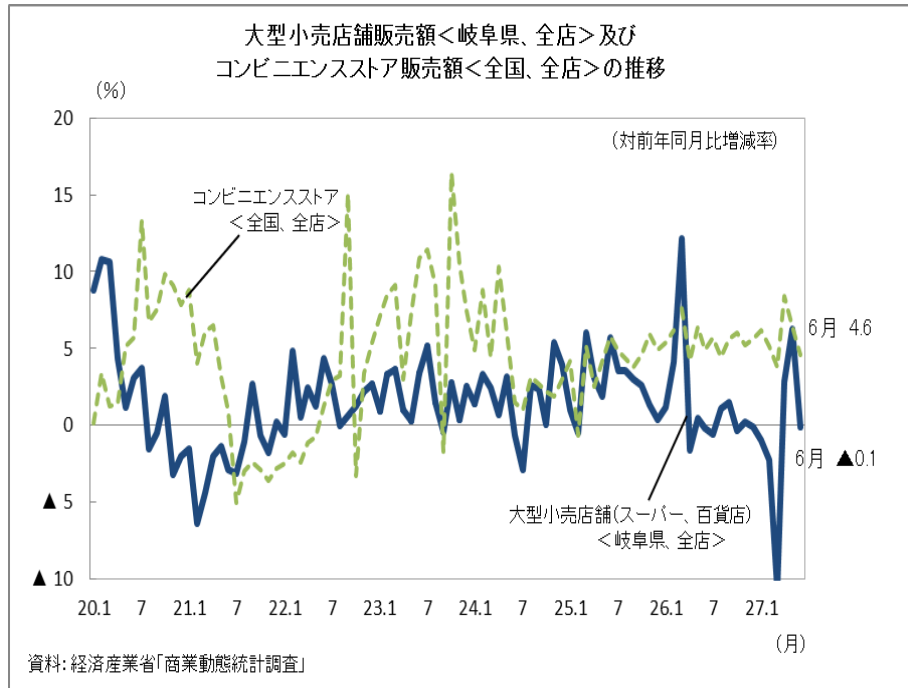


現場の動き

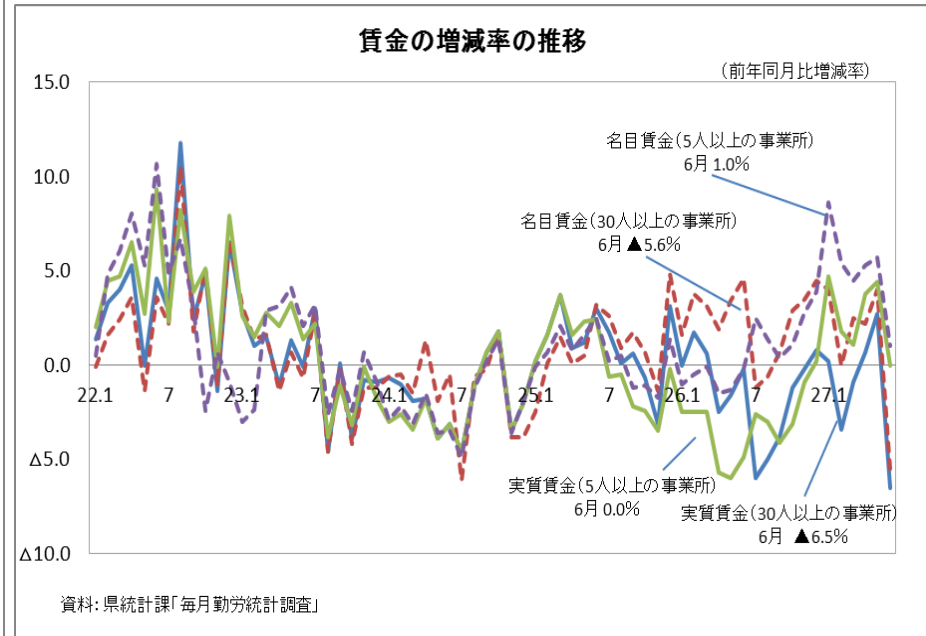
◆公共工事の発注が少なく、技術者についても余剰感がある。また、民間工事においても、工事規模の大小を問わず、手持ち工事量は少ないと感じている。(業界団体)

個人消費(流通・小売)

○6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%減と3ヶ月ぶりに前年を下回った。



○6月の実質賃金は、従業員5人以上の事業所は前年と同水準、従業員30人以上の事業所は、同比6.5%減となった。



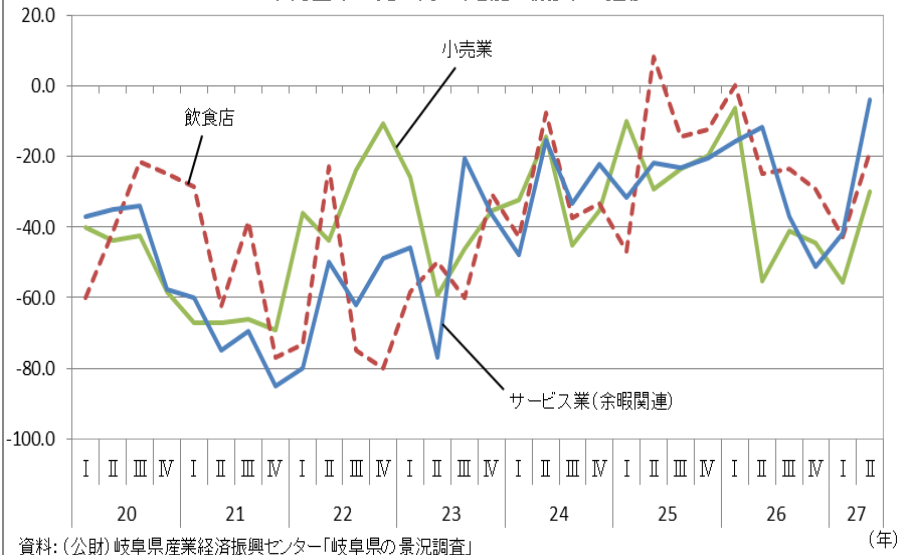
現場の動き

- ◆ 来客数、売上ともに前年同月比で100%を上回っており、特に衣料が好調に推移した。
- ◆ 猛暑が続いたため、飲料が150%の売上、アイスなども好調。
- ◆ プレミアム商品券の効果もあってか、客単価が高い。(以上、大型小売店)
- ◆ お土産の商品は売上が伸びなかったが、お盆商戦としては悪くなかった。(食品スーパー)
- ◆ 8月は暑くなったため、エアコン、扇風機の売上が伸びた。(家電)
- ◆ 前半は暑く、お盆過ぎから涼しくなり始め、天候が良かったため売上は好調であった。
- ◆ 中国株の下落による影響は今のところないが、今後、インバウンドへの影響が懸念される。(以上、スポーツ用品)

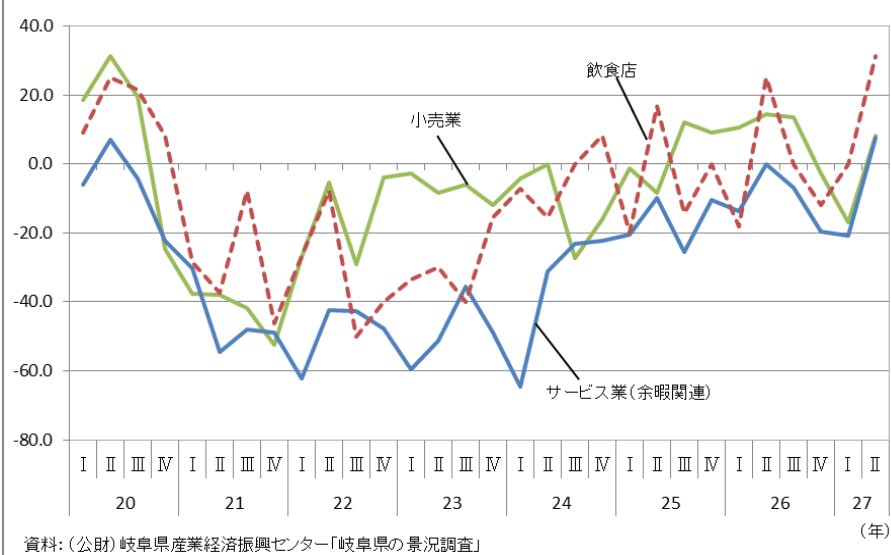
個人消費(流通・小売)－2

○平成27年4－6月期の小売業、飲食業、サービス業(余暇関連)について、売上高、製品販売価格ともに大幅に増加した。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移



現場の動き

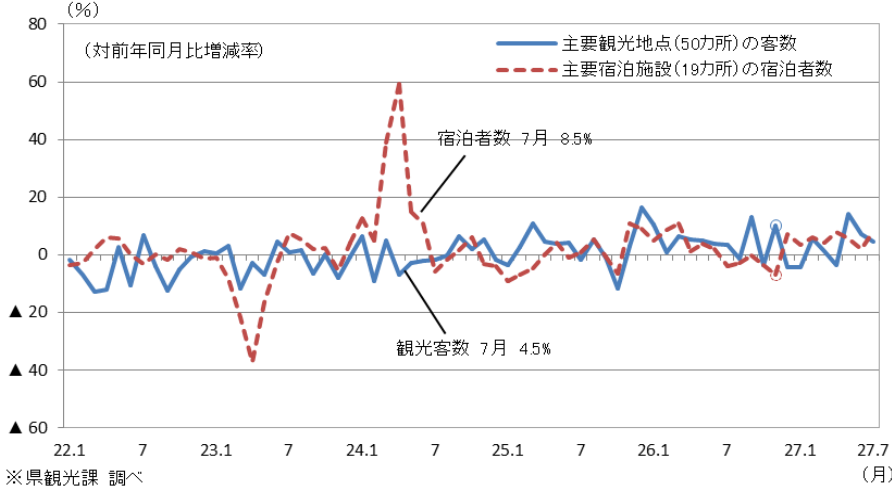
- ◆ 帰省客を取込む販促により、岐阜県産を取り扱う物販、飲食店舗を中心に好調に推移し、全体を牽引した。
- ◆ 来館者、売上ともに前年同月比で100%を上回った。(以上、アクティブG)
- ◆ お盆を過ぎて涼しくなり、盆明けから人通りが出てきた。
- ◆ 売上は、婦人服が前年同月比100%、飲食店が同120%、メガネ店が同100%。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆ プレミアム付き商品券は、高額品を取り扱っている店舗に偏っている。
- ◆ 売上は、婦人服店が前年同月比95%、和菓子店が同108%。(以上、大垣市商店街)
- ◆ 外国人観光客が引き続き多いが、爆買いするような店舗はない。最近は個人や小グループの観光客が多い。
- ◆ 売上は、土産・雑貨店が前年同月比110%、衣料品店が同102%。(以上、高山市商店街)
- ◆ 売上は、酒類販売が前年同月比100%であり、猛暑により飲食店への売上が好調だった。(多治見市商店街)

観光

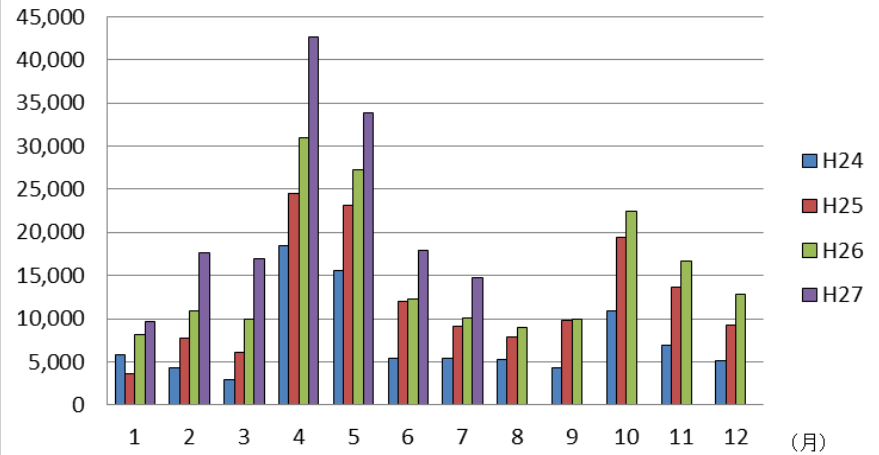
○主要観光地における7月の観光客数は、前年同月比4.5%増と3ヶ月連続で前年を上回った。主要宿泊施設における宿泊者数は同8.5%増と8ヶ月連続で前年を上回った。

○主要宿泊施設における7月の外国人宿泊客数は、前年同月比63.1%増と30ヶ月連続で前年を上回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要宿泊施設 外国人宿泊客数(対前年比推移)

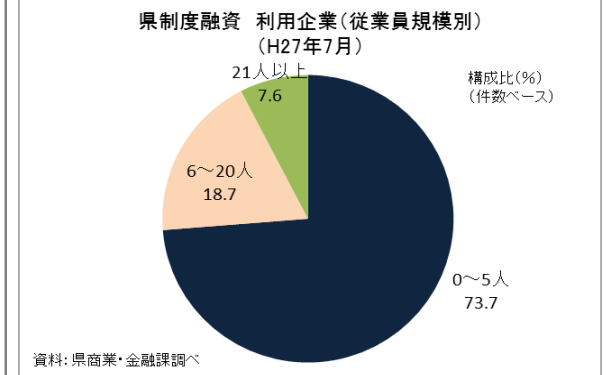
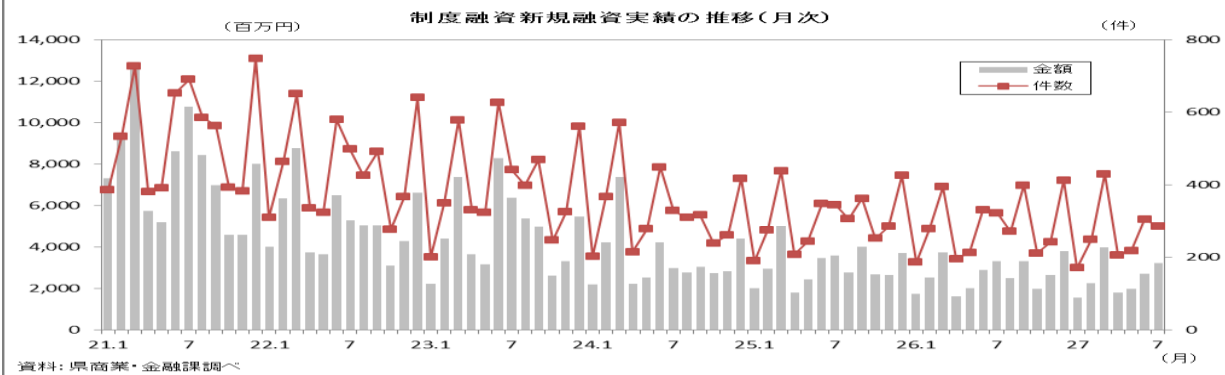
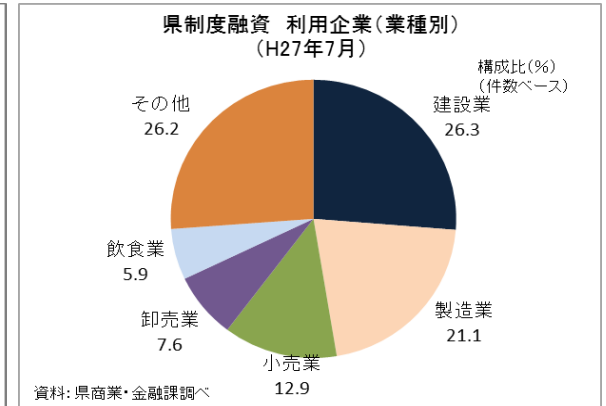
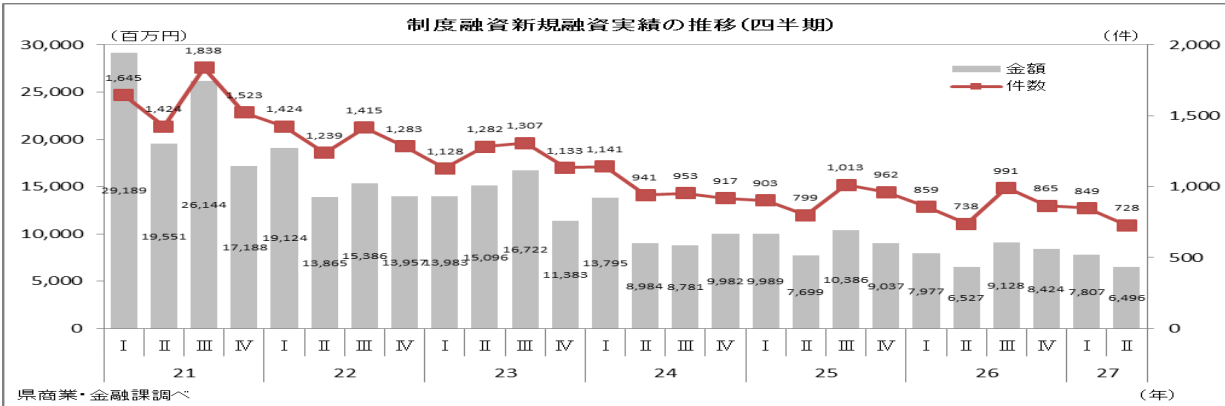


現場の動き

- ◆ 宿泊施設については、インバウンドの増加もあり、前年比で好調を維持している。(宿泊施設の総括)
- ◆ トータルで見た観光入込客は好天に恵まれたこともあり、前年比で増加傾向にある。(観光地の総括)
- ◆ 個人客、団体客ともに好調。一般団体、ツアー団体、インバウンドの増加で客室在庫がない状態。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ 個人客のインターネット予約が増えてきている。(大垣市内の宿泊施設)
- ◆ 学生のスポーツ団体・企業の団体が入っており、好調である。(美濃加茂市内の宿泊施設)
- ◆ 北陸新幹線による金沢～高山の流れも少しずつではあるが出てきている。(高山市内の宿泊施設)
- ◆ 個人客、ネット予約客が好調である。インバウンドについては、過去最高の入込である。(高山市内の宿泊施設)
- ◆ 猛暑にも関わらず、国内旅行は順調の模様。(下呂市内の宿泊施設)

資金繰り

- 新規融資実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しがみられる。
- 7月の実績は金額が前年同月比2.6%減と3ヶ月連続で減少し、件数は同11.5%減と2ヶ月連続で減少した。
- 建設業・製造業の利用が多く、従業員5名以下の零細企業が約7割を占める。

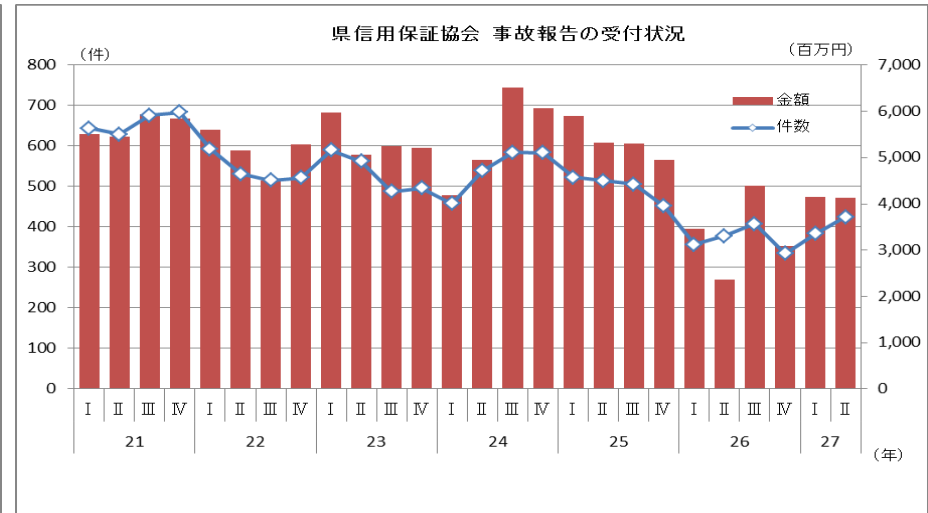
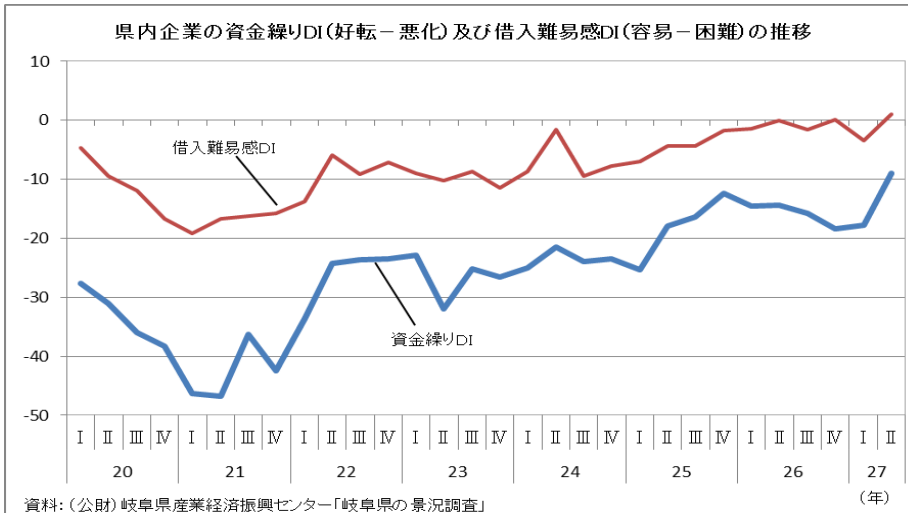
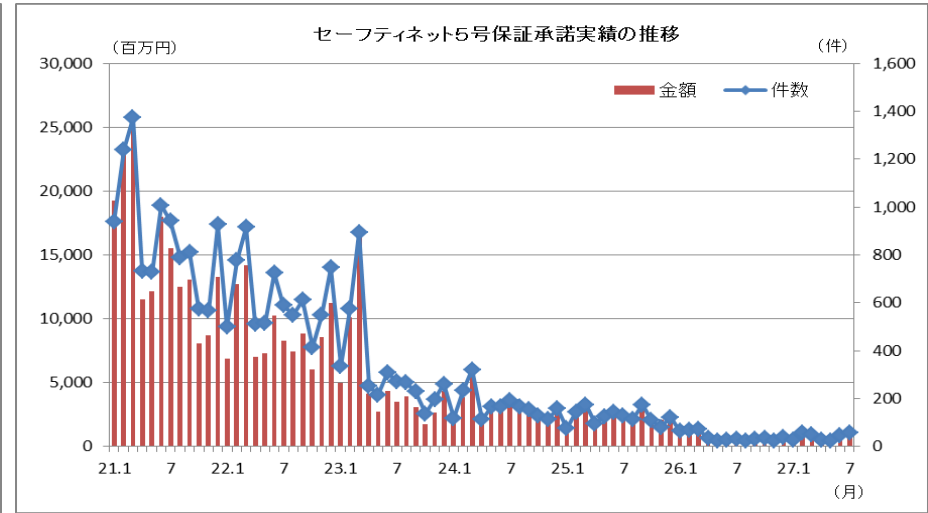
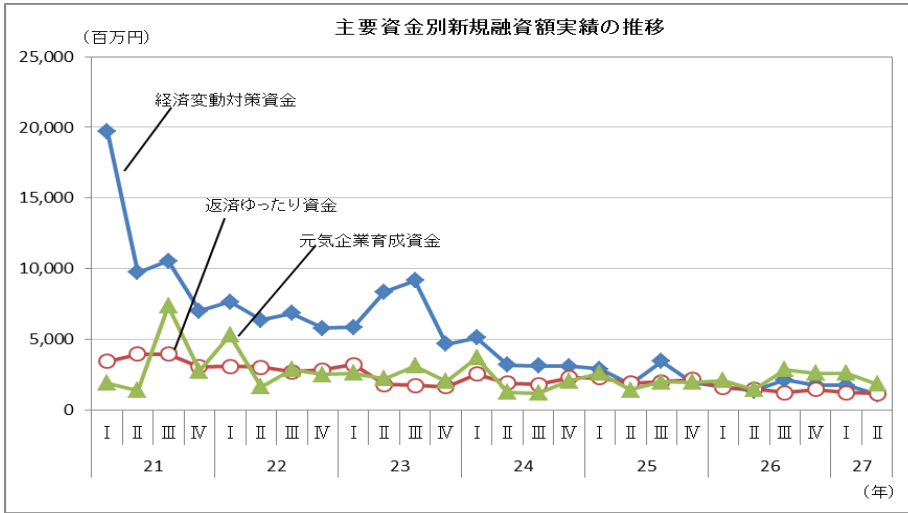


現場の動き

- ◆受注や消費マインドが上向き、資金需要の回復が見られる。
- ◆融資額は全体として横ばいである。
- ◆融資案件が設備投資に向かっている傾向がある。(以上、金融)

資金繰りー2

- 資金繰りを改善するための運転資金である「経済変動対策資金」の融資額実績、業況の悪化している業種に属する中小企業者を支援するための措置である「セーフティネット保証5号」の承諾実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しがみられる。
- 資金繰りについては、資金繰りDIが2期連続で増加し、借入難易感DIが2期ぶりに増加した。

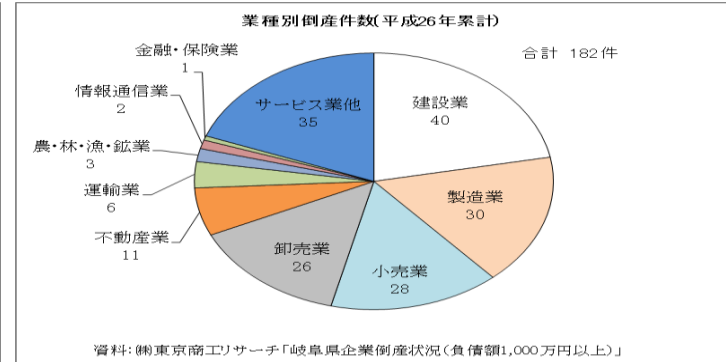
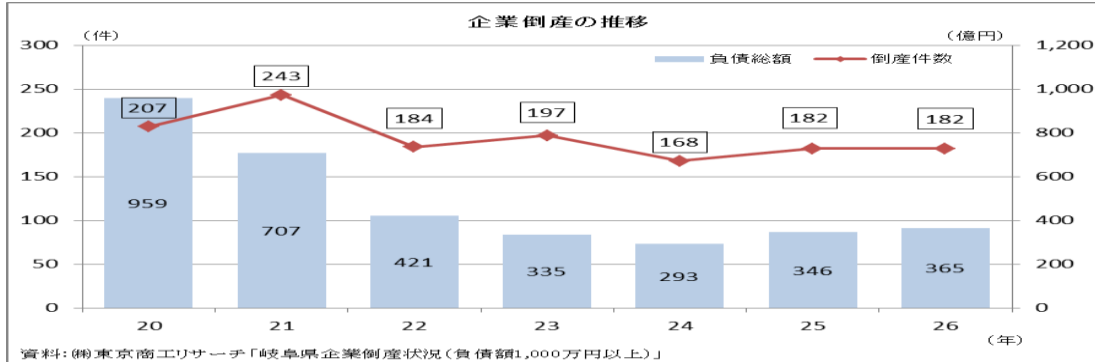
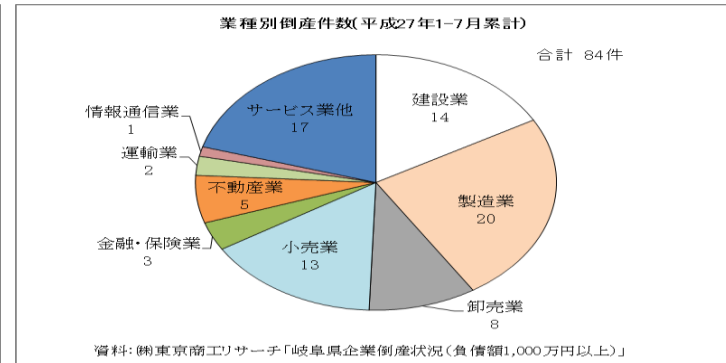
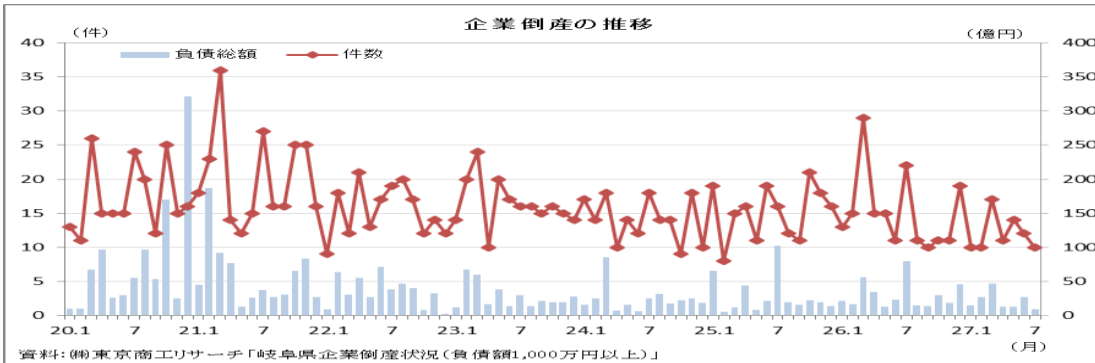


資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

倒産

○7月の倒産件数は前年同月比54.5%減の10件、負債総額は同89.4%減の8億5,000万円となった。

○業種別では、建設業と製造業で倒産件数の4割を占めている。



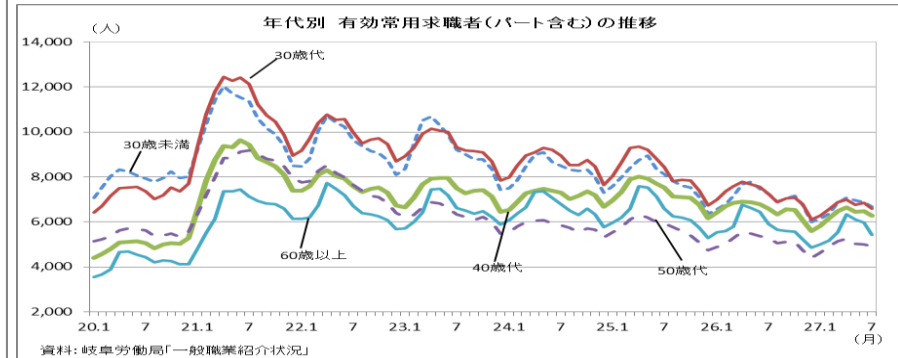
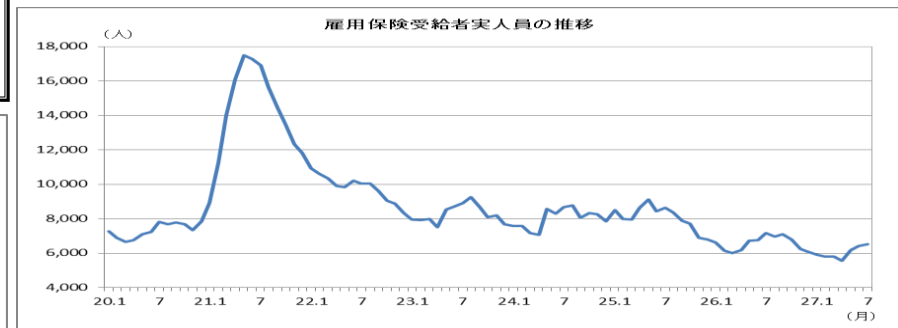
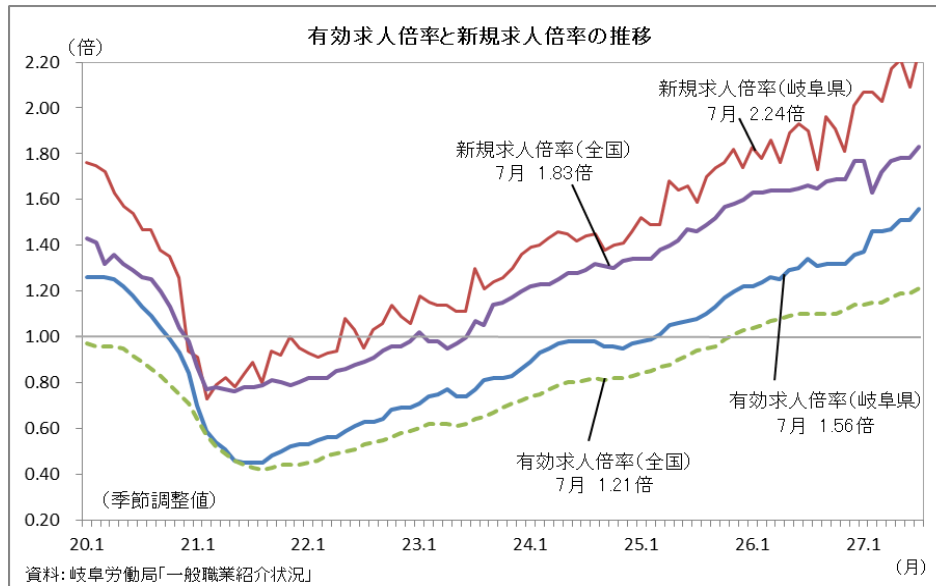
専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆負債総額10億円を超える倒産が無く、1億円以上は2件であり全体の20.0%を占めているが、1億円以上の小口先が80.0%と半数以上を占めており、負債総額を抑制する要因となった。
- ◆負債総額が10億円を割り込むのは平成25年5月度の7億4,500万円以来。
- ◆倒産企業はすべて10人未満の企業となるなど小規模倒産主体が鮮明となった。
- ◆大企業を中心に高水準の賞与が支給されていることに加えて、訪日外国人も過去最高の水準に達し消費意欲も旺盛であるため国内消費の底堅さは窺われる処となっている。今後の見通しにおいては、件数の大幅な増加は考えにくいものの、受注状況の回復が進まず体力消耗が続く企業倒産が一定数発生する状況は続くものと見られる。

雇用

- 7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.56倍と前月より0.5ポイント上昇した。
- 7月の新規求人倍率(季節調整値)は2.24倍と前月より0.15ポイント上昇した。

- 7月の雇用保険受給者人員は前年同月比9.1%減と25ヶ月連続で前年を下回った。



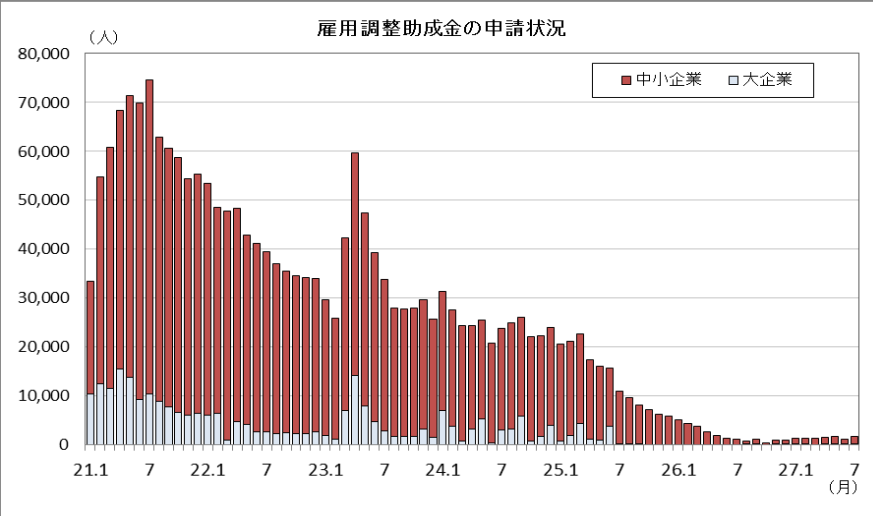
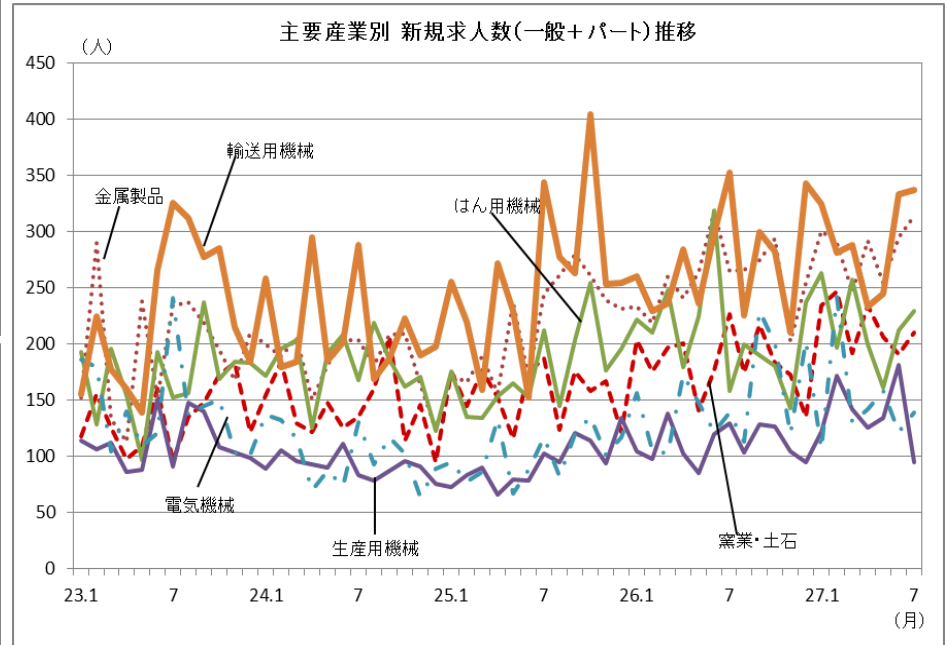
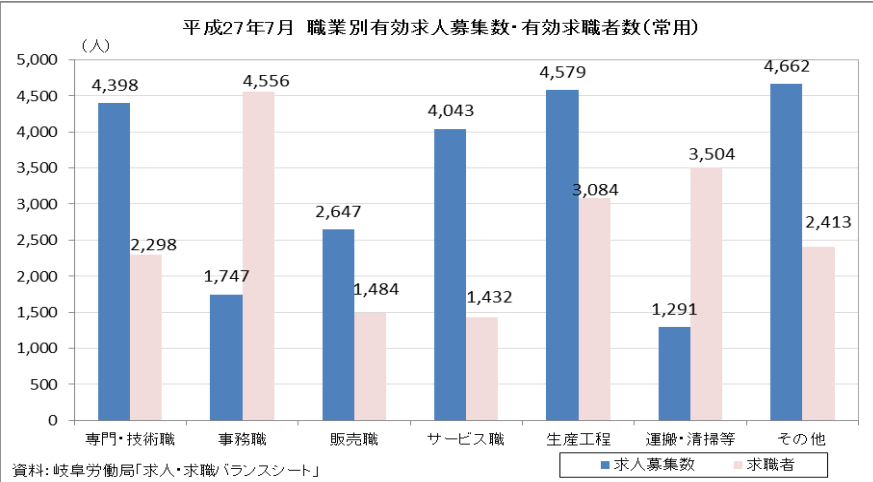
現場の動き

- ◆大手企業が求人を増やしており、中小企業は人材確保が厳しい状況にある。(輸送用機械)
- ◆大卒者採用は厳しい。某大学には、前年比130%の求人が来ており採用活動は困窮している。(生産用機械)
- ◆今年度は採用時期も遅れており、大手企業採用による内定辞退もあり採用が厳しい状況。(プラスチック)
- ◆新たな事業を実施するにあたり、一度リタイヤした人に声を掛け再度働いてもらっている。(紙)
- ◆人手不足は深刻であり、本部で加盟店向けの派遣センターを開設するなどの対応を講じている。(コンビニ)
- ◆専門職(技術職)や、建設業、飲食業は引き続き人手不足感が強い。(金融)

雇 用(職業別)

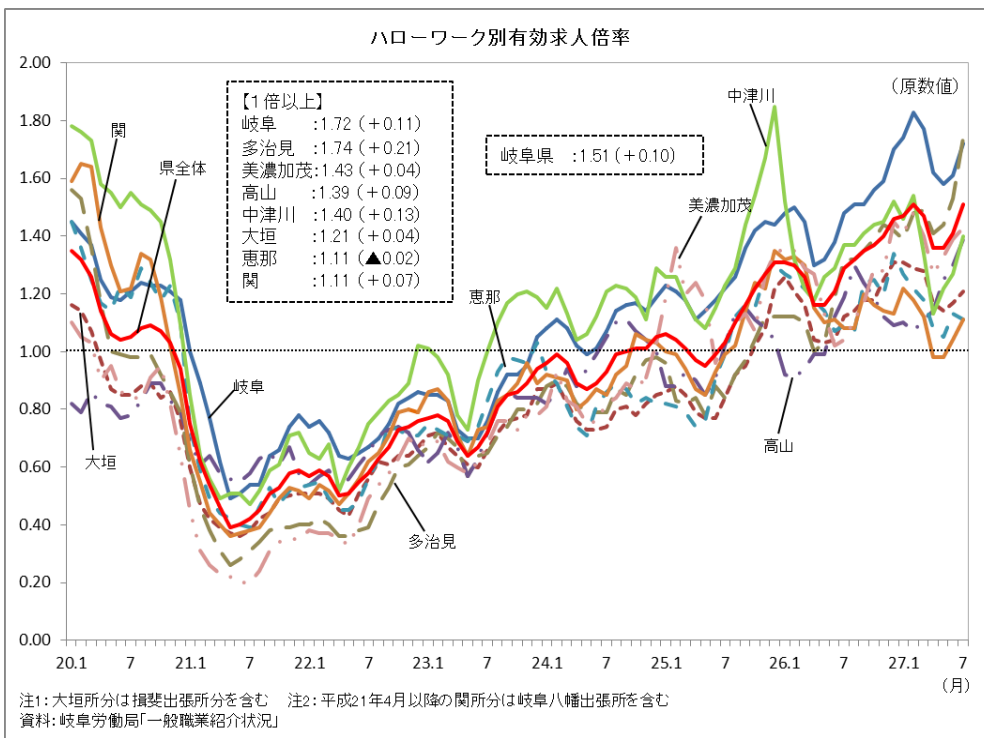
- 「事務職」や「運搬・清掃等職」では、求人募集数と求職者数のギャップが大きい状況が続いている。
- 雇用調整助成金は東日本大震災直後に急増したが、現在は減少傾向にある。

- 7月の主要産業における新規求人数は、はん用機械が前年同月比44.9%、金属製品が同18.5%増加したが、窯業・土石が同7.1%、生産用機械が同26.4%、輸送用機械が同4.3%減少した。



雇用(地域別)

現場の動き(先月比)



<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は上昇。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>

◆恵那、関、美濃加茂は前月と同じくらい。岐阜、大垣、多治見、高山、中津川は空いている。

<ハローワーク美濃加茂>

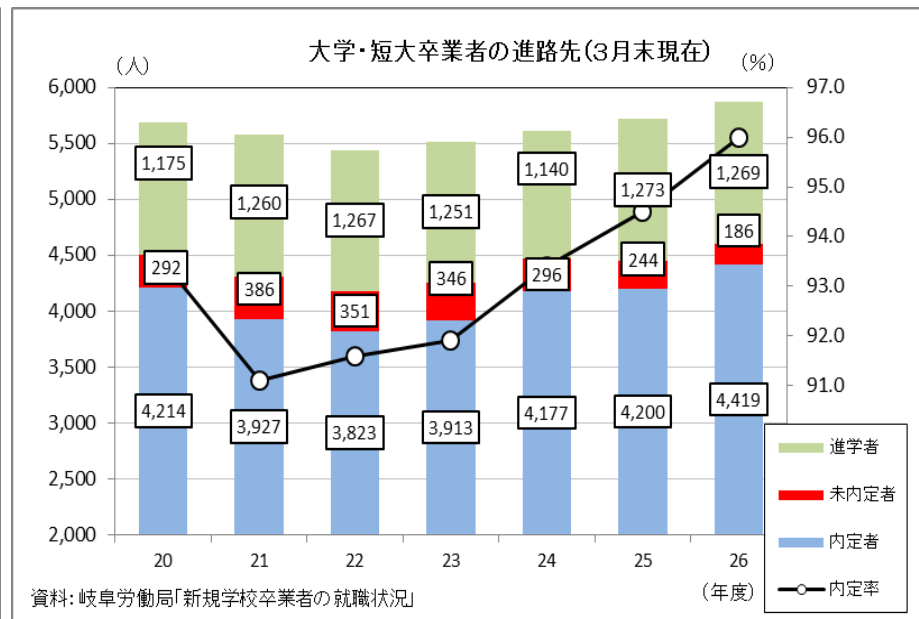
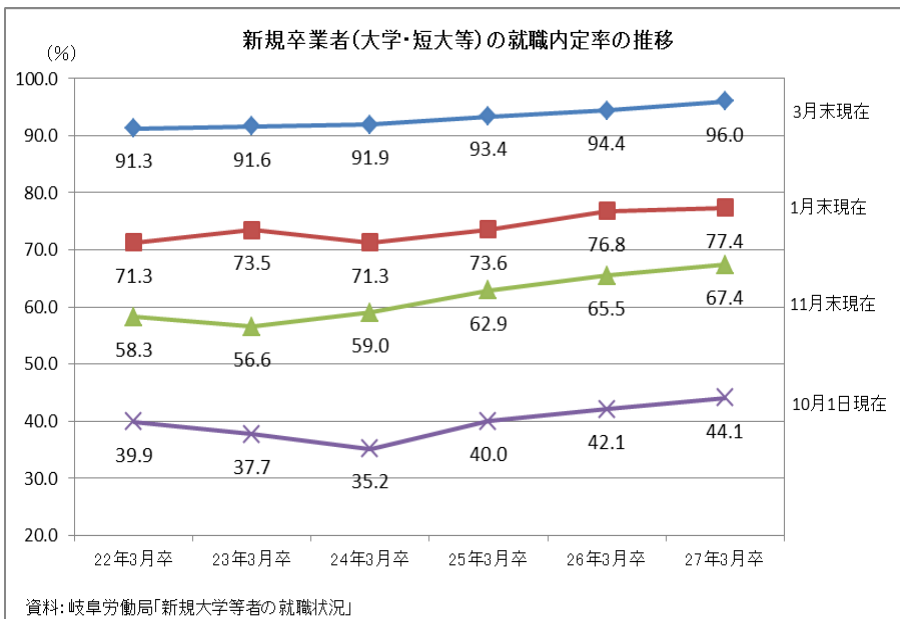
- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○3月末時点の大学・短大卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比1.6ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き(平成28年3月卒の就活状況等)

【岐阜県内の主な大学】

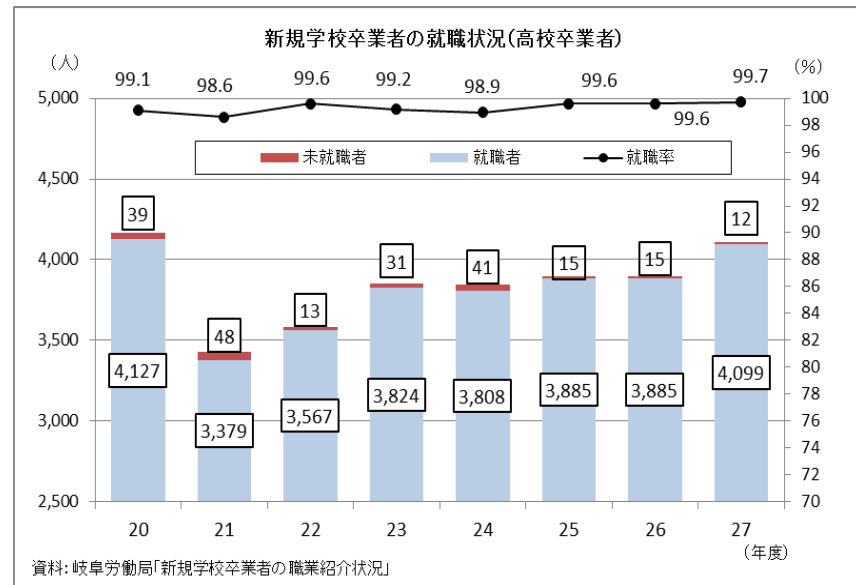
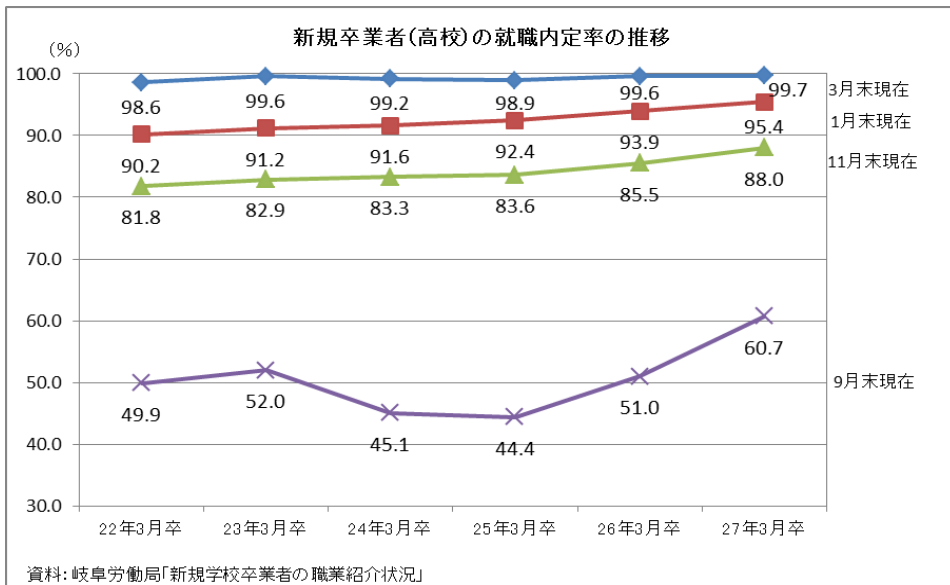
- ◆平成28年度採用の内定率の報告は9月より開始のため数値報告は不可だが、感覚的には50%前後と推察。
- ◆秋期スタートと同時に3年生向けの就活講座などもスタート、4年生の未内定者への支援と重複してくるため、未内定学生の支援については、内定率を鑑みながら計画を立てる予定。

【愛知県内の主な大学】

- ◆夏休み期間でキャリアセンターの利用も少ないが、大手企業の選考結果が出た後は、複数内定をもらった学生が最終決定するための相談が、一日当たり10~20件と多くなった。
- ◆就活スケジュールの変更で、昨年同時期よりも内定率は下がる見込みであり、対策が必要。

雇 用(高校新卒者の就職)

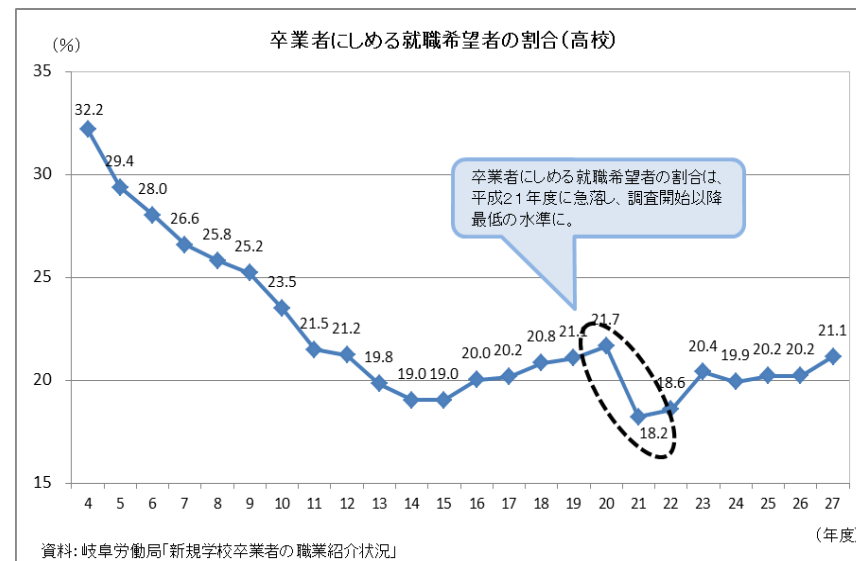
○3月末時点の高校卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比0.1ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き

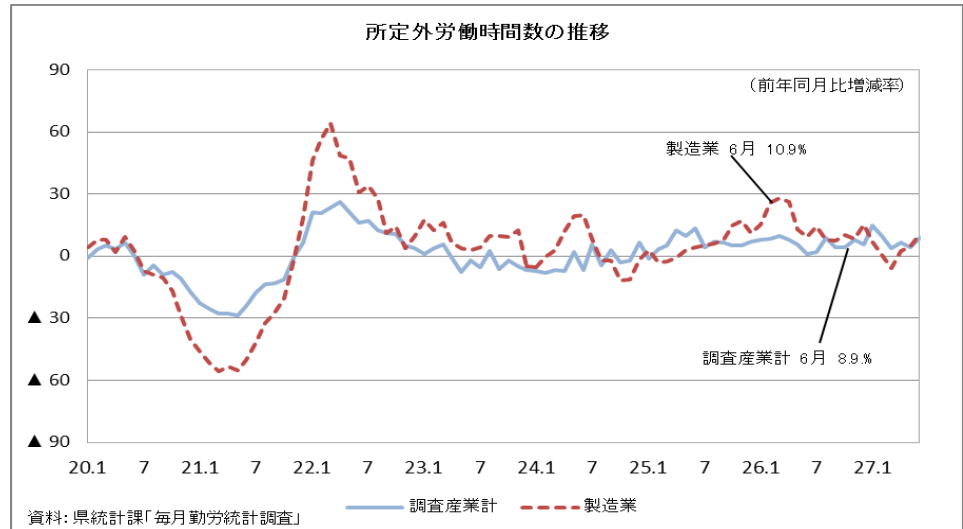
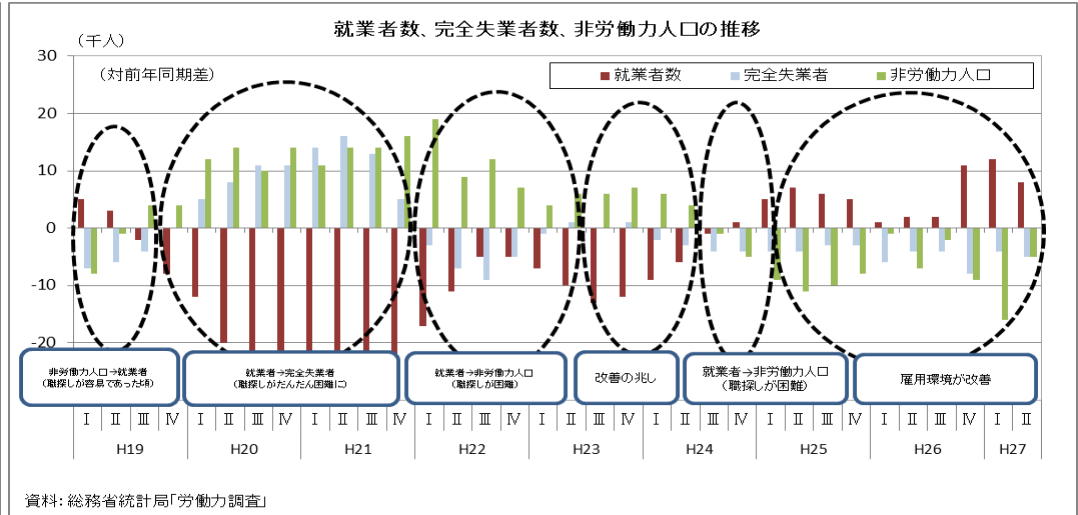
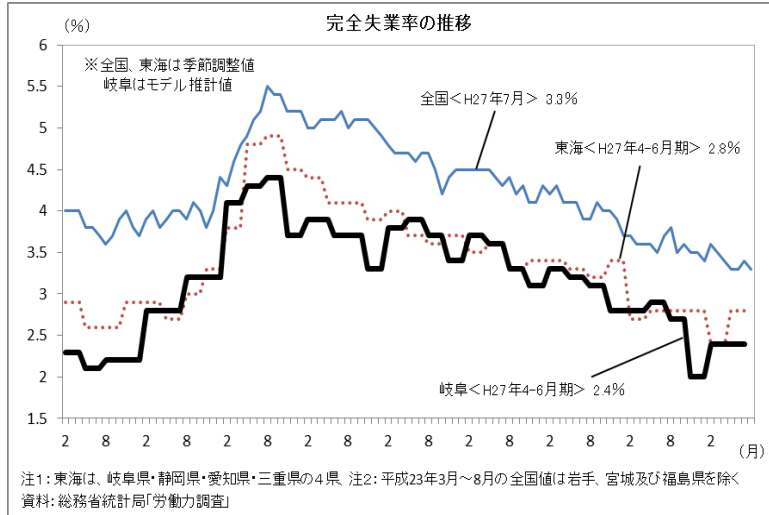
- <ハローワーク岐阜>
- <ハローワーク大垣>
- <ハローワーク多治見>
- <ハローワーク高山>
- <ハローワーク恵那>
- <ハローワーク関>
- <ハローワーク美濃加茂>
- <ハローワーク中津川>

求人は増加。
求人は減少。
求人は減少。
求人は増加。
求人は増加。
求人は増加。
求人は横ばい。
求人は横ばい。



雇 用(完全失業率)

○平成27年4-6月期の完全失業率は2.4%と前期と同水準で推移した。
 ○平成21年以降、職探しが困難な状況のなか、平成23年に改善の兆しを見せた。平成24年に再び
 厳しい状況となったが、平成25年以降に雇用環境は改善している。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いている。中国経済の影響も見られるものの、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。
- 直近の円安の動きについては、原材料価格の上昇が続き、製造コストを一層押し上げている上に、販売価格への転嫁が進んでいない企業が見受けられる。
- 地場産業は、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部でみられる。
- 個人消費は、雇用環境の改善による賃金上昇を背景に、消費の裾野は徐々に広がりつつある。売上が前年同月比を上回るまでに回復している小売店も見受けられ、駆け込み消費の反動減は和らいでいる。
- 観光では、宿泊施設は、施設によってバラツキはあるものの、好調を維持している。インバウンドは、特に欧州、中国、香港からの観光客の増加により、前年比で好調を維持している。観光入込客は、好天に恵まれたこともあり、前年比で増加の傾向。
- 雇用面では、雇用面では、有効求人倍率が1.56倍と上昇を続け、完全失業率も2.4%と改善していることから、総じて県内の雇用情勢が回復基調にあるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。
- 企業の資金繰りは、改善傾向にある。新規融資実績も増加傾向にあり、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。